

[438]九州大学大型計算機センターニュース :
No. 438

<https://doi.org/10.15017/4787642>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 438, pp. 1-6, 1991-04-22. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



目 次

1. DSPRINTからAPSへの移行について 1
2. 学内交換回線の17番の運用方式変更及び89番の廃止について 5
3. MHS方式による電子メールサービスの開始について 6
4. PACX経由による300bpsでのサービス廃止について 6
5. ATLAS-I (英日自動翻訳システム) の
レベルアップに関するニュース(No.437-1)の訂正について 6

1. DSPRINTからAPSへの移行について

従来、センターのホストと接続されているOPR (Office Printer) にデータセットの内容等を印刷するにはDSPRINTコマンドで行っていましたが、5月13日(月)からDSPRINT機能を廃止してAPS (Advanced Printing Subsystem)に移行します。この移行は、APSでしか出力できないメーカーの新ソフトが提供されていること、及びAPSがDSPRINTと同等以上の機能を持つことによります。DSPRINT関連のコマンドに対応するAPSのコマンドは下記の通りです。なお、これに伴いDSPRINT関連のコマンドは廃止しますので、私用コマンドプロシジャ等で指定されている場合はご注意ください。

1. DSPRINTとAPSのコマンド対応

	DSPRINT	APS
データセットの内容出力	DSPRINT	PRTFILE
編集中心テキストの出力	DSPRINT	OPR
ジョブ結果の出力	HARDP	PRTJOB

OPRの状態表示 及び、出力の取消し	DSPOPER	PRTOPER
OPRの再起動	PRTCHK	PRTCHK
関連コマンド一覧		PRTHELP

2. コマンドの説明

1) データセットの内容出力

機 能： データセットの内容をOPRに出力する。

コマンド名	オ ペ ラ ン ド
PRTFILE	{File (ファイル名) Ddname (DD名)} Terminal (プリンタ名) [SHeetsize (<u>A4</u> A5 B4 B5)] [P Rintmode (Port L And <u>LP</u>)] [Line (n : m)] [COPies (複写枚数)]

オペランドの説明

- File : 出力の対象となるデータセット名を指定する。
Ddname : 出力の対象となるデータセット名が割当てられているDD名を指定する。
Terminal : OPRのプリンタ名を指定する。
SHeetsize : 指定したOPRで出力できる用紙サイズを指定する。省略値はA4。
P Rintmode : 印刷モードを指定する。省略値はLP。
Port : ポートレートモード。A4で縦63行、横78桁。
L And : ランドスケープモード。A4で縦43行、横112桁。
LP : ラインプリンタモード。縦60行、横138桁。
印刷モードがLPの場合、用紙サイズはA4指定とみなされる。
用紙がA4以外の場合、印刷モードとして必ずPORTかLANDを指定する。
Line : 出力したい行の範囲を指定する。
COPies : 複写部数を指定する。

使用例 : PRTFILE F(EXAM.DATA) T(OPR1)

2) 編集集中テキストの出力

機 能： PFDで編集集中のテキストをOPRに出力するサブコマンド。

コマンド名	オ ペ ラ ン ド
OPR	Terminal (プリンタ名) [SHeetsize (<u>A4</u> A5 B4 B5)] [P Rintmode (Port L And <u>LP</u>)]

使用例 : PFDのEDIT画面で
OPR T(OPR1)

3) バッチジョブの結果出力

機能: バッチジョブの結果をOPRに出力する。

コマンド名	オペランド
PRTJOB	ジョブ名 [Jobcode (J n n n n)] Terminal (プリンタ名)

オペランドの説明

ジョブ名 : 出力したいバッチジョブのジョブ名を指定する。
Jobcode : 同一ジョブ名が複数ある場合、ジョブ番号を指定する。

使用例: PRTJOB E79999A1 T(OPR1)

4) 出力要求の操作

機能: 要求した出力の状態表示、及び、出力依頼の取消しを行う。

コマンド名	オペランド
PRTOPER	$\left\{ \begin{array}{ll} \text{Status} & \text{Terminal (プリンタ名)} \\ \text{Delete} & \text{C Ode (要求番号)} \\ \text{C Ancel} & \text{Terminal (プリンタ名)} \end{array} \right\}$

オペランドの説明

Status : PRTFILE/PRTJOBコマンドで出力を要求したOPRについて、出力状態を表示する。プリンタ名は必須。
Delete : PRTFILE/PRTJOBコマンドで印刷指示した出力要求を取り消す。要求番号(使用例1参照)は必須。
取消しが受け付けられるのは出力待ち状態で、セッションと同一登録番号の要求のみである。
C Ancel : すでに印刷中の出力要求をキャンセルする。これはDELETE指定と異なって装置キャンセルとなるので必ず自分の出力であることを確認しておく。

使用例1: PRTOPER S T(OPR1)

上記コマンドの実行により、指定したOPRの出力要求情報が下記のように表示される。

CODE	NAME	USER ID	WRITER	POS	STATIS
000216	A70099A#	A70099A	OPR1	1	PRINTING
000474	A70099A1(J1234)	A70099A	OPR1	2	
000480	E79999K#	E79999K	OPR1	3	

<u>000481</u>	<u>A70091A#</u>	<u>A70091A</u>	<u>OPR1</u>	<u>4</u>	<u> </u>
↑	↑	↑	↑	↑	↑
要求番号	ジョブ名(ジョブ番号)	登録番号	プリンタ名	要求順番	出力状態

使用例 2 : PRTOPER D CO(481)

使用例 3 : PRTOPER CA T(OPR1)

上記コマンドの実行により、要求番号 2 1 6 の印刷を中断し、出力要求はキャンセルされる。

5) OPRの再起動

機能： OPRが何らかの原因により作動しなくなった時、指定したOPRをホストから切り放し、再接続を行う。

コマンド名	オペランド
PRTCHK	Terminal (プリンタ名)

使用例： PRTCHK T(OPR1)

6) OPRのコマンド一覧

機能： OPR関連のコマンドとそのオペランドの一覧を表示する。

コマンド名	オペランド
PRTHELP	

使用例： PRTHelp

上記コマンドの実行により、下記のように表示される。

1. データセットの内容出力

```

PRTFILE {F(DS名) | D(DD名)} T(プリンタ名)
SH(A4 | A5 | B4 | B5)
PR(LAND | PORT | LP) LINE(n:m) COPIES(n)

```

2. 編集テキストの内容出力 (PFDのサブコマンド)

```

OPR T(プリンタ名) SH(A4 | A5 | B4 | B5)
PR(PORT | LAND | LP)

```

3. バッチジョブの結果出力

```

PRTJOB ジョブ名 [J(Jnnnn)] T(プリンタ名)

```

4. 出力要求の状態表示

PRTOPER STATUS T(プリンタ名)

5. 出力要求の取消し

PRTOPER DELETE CO(要求番号)

6. 出力中のキャンセル

PRTOPER CANCEL T(プリンタ名)

7. O P R の再起動

PRTCHK T(プリンタ名)

(システム管理掛 内線2518)

2. 学内交換回線の17番の運用方式変更及び89番の廃止について

4月22日(月)から、学内交換回線の内線番号17番(1200/2400bps, MSP接続), および89番(1200/2400bps, UTS接続)を廃止し、新たに17番をMSP, UTSいずれにも接続できるPACX経由の学内交換回線として運用します。

この番号で接続できるのは、MSP, UTSどちらもモデムの規格がV. 22(1200bps), V. 22bis(2400bps)でMNP機能(通信中のエラーの検出/再送, データ圧縮)はありません。接続方法は次のとおりです。

・MSPへの接続方法

内線電話から17番にダイヤリング

CONNECT

←センターに接続できると CONNECT と表示される

←リターンキー(復帰改行, CRキ等)のみ押す

enter class M

←enter class の問い合わせに対し M と入力する

class M start

←ブレイクキー(例えばSTOPキ-)を押し、
続けてリターンキーを押す

JECT005 SYSTEM READY

←MSPへのログオンが可能となる

・UTSへの接続方法

内線電話から17番にダイヤリング

CONNECT

←センターに接続できると CONNECT と表示される

-

←ハイフンキーのみ押す

enter class U

←enter class の問い合わせに対し U と入力する

class U start

kyu-cc

Welcome to FUJITSU UTS

login:

← U T S へのログインが可能となる

(ネットワーク掛 内線 2 5 4 2)

3. MHS 方式による電子メールサービスの開始について

平成 3 年 4 月 3 日 (水) より国際規格 (C C I T T 勧告 X. 4 0 0) に基づく M H S 方式での電子メールのサービスを開始しましたのでお知らせします。

これによる電子メールは全国 7 大型計算機センターと学術情報センターが共同で今年度からサービスを行います。他センターの開始時期や利用方法については各々のセンターに問い合わせ下さい。当センターは前述のとおりサービスを始めていますが、環境整備や、利用の手引作成等にもうしばらく時間を要しますので、利用方法等については当面ネットワーク掛にお問い合わせ下さい。

(ネットワーク掛 内線 2 5 4 2)

4. PACX 経由による 300bps でのサービス廃止について

専用回線及びアナログ電話交換回線から P A C X を経由して、M S P 及び U T S を利用する形態において、3 0 0 b p s でのサービスを 6 月 1 日 (土) をもって廃止しますので予めお知らせします。

これにより 3 0 0 b p s で接続できるのは、M S P, U T S 共第 2 種パケット交換回線及び I N S ネットのパケット通信によるものだけとなりますのでご注意ください。

(ネットワーク掛 内線 2 5 4 2)

5. ATLAS-I (英日自動翻訳システム) のレベルアップに関するニュース (No.437-1) の訂正について

前回のニュース記事 (No.437) でお知らせしました ATLAS-I (英日自動翻訳システム) の以下の記述について一部誤りがありましたので訂正致します。

翻訳プロセッサは A E モードでしか動作しないという記述は誤りで、ATLAS-I の翻訳プロセッサは A E モードではなく N O A E モードのみで動作します。またバッチ処理においてはジョブクラス「F」ではなく A, B, または E を指定して下さい。

(ライブラリ室 内線 2 5 0 8)